

ふれあいの橋の会

REPORT よなご

と き 2026年 9月 3日(木) 14:00~15:30

ムクゲ

訪問先 介護老人福祉施設きんかい幸朋苑 米子市錦海町 3-5-15

出席者 【委員】 田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義

【よなごエリア】 野坂 美保 (介護老人福祉施設きんかい幸朋苑 施設長)

岩田 美幸 (介護老人福祉施設きんかい幸朋苑 主任相談員)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

YONAGO Area Report

■きんかい幸朋苑の現況、施設概要と課題

荒井監事：今日は、2006年5月に開設した「介護老人福祉施設きんかい幸朋苑」と「ショートステイ」を見学していただきます。「ふれあいの橋の会」は、2000年から始めており、エリアごとに地域代表を委員に委嘱し、ご利用者の生活状況や職員の利用者への関わり方、施設環境などを見学していただき、提案されたご意見を改善に繋げてきました。各エリアで進め方が異なり特色がありますが、今日は、いなばエリアの活動記録を配布しています。よなごエリアの進め方の参考にしたいと思います。

名越委員：長年、ふれあいの橋の会の委員をさせていただき、いろいろな事を学びました。また、施設見学をし、危険性を感じる箇所について指摘し、すぐに改善していただいたことが何度もあります。職員が気づかないことがありますので、良い取り組みだと思います。

田平委員：委員になって随分年数が経っていますが、他のエリアの施設を見学するのもいいかと思います。新たな視点が生まれるかもしれません。

福谷委員：毎回、大変勉強になります。重箱の隅をほじくるような指摘はしたくないですが、全体を俯瞰しながら提言をしたいと思っています。

荒井監事：今後も進め方を工夫し、内容充実を図りたいと思います。
では、きんかい幸朋苑の現況を報告してください。

野坂施設長：きんかい幸朋苑は、今年5月で開設20周年になりましたので、記念式典を開催しお祝いをしました。医師体制については、常勤医師が春に退職し、現在は医師でもある廣江晃理事長に回診をしていただいています。
8月9日(日)の「米子がいな祭の花火大会」では、2階のベランダにご利用者とご家族に集まっていただき、花火を鑑賞しました。





花火を鑑賞するご利用者と家族



岩田主任：きんかい幸朋苑は、特養30床、ショートスティ6床で、入居年齢は73歳～102歳、100歳以上3名、平均年齢90.5歳、平均利用年数2.9年、最長利用年数7年10月、4ユニット、全室個室（トイレ・洗面台付き）、浴室4か所（特殊浴槽1台、個浴3台）。職員は、施設長1名、非常勤医師1名、看護師3名、相談員1名、管理栄養士1名、介護士19名（内グローバル人材・インドネシア2名）、軽作業2名を配置しています。

田平委員：インドネシアの職員は、資格を持っていますか。

岩田主任：介護福祉士の資格は、まだ取得していません。インドネシア出身の職員は、1年目と2年目の男性職員で、1名は夜勤も担当しています。

田平委員：日本語は堪能ですか。医療や介護の分野では、褥瘡（じょくそう）という症状名を使いますが、そういう言葉は、ほかの表現に変えますか。

野坂施設長：褥瘡はそのまま使用します。日本語を勉強してから来訪していますから会話ができます。

荒井監事：隣接地に錦海リハ病院がありますが、日々の交流はありますか。

野坂施設長：きんかい幸朋苑の食事は、錦海リハ病院の厨房で調理されたものを運んでいます。

荒井監事：では、施設内を見学し、点検確認をお願いします。



リフトでベッドから車椅子へ移乗



スライディングボードを体験



■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内を見学していただき、リフト等の使用体験もしていただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点や感想をお願いします。

野坂施設長：走行式リフトによるベッドから車椅子への移乗方法を体験していただきました。また、こうほうえんでは「持ち上げない、抱え上げない」介護を実施しており、スライディングボードも体験していただきました。いかがでしたか。

田平委員：リフトは、初めての体験でした。私は体重が重いので、不安な面がありましたが、うまく操作していただきました。

福谷委員：スライディングボードでの移乗は、便利ですね。職員の腰痛は減少しましたか。

野坂施設長：この取り組みにより、職員の腰痛は減少していると思います。パッド交換時の腰への負担は残るものの、全体的には効果が出ています。ご家族にも説明し、理解を得ています。

荒井監事：食事は、錦海リハ病院で調理したものを運んでいるということですが、車で運搬しているのでしょうか。

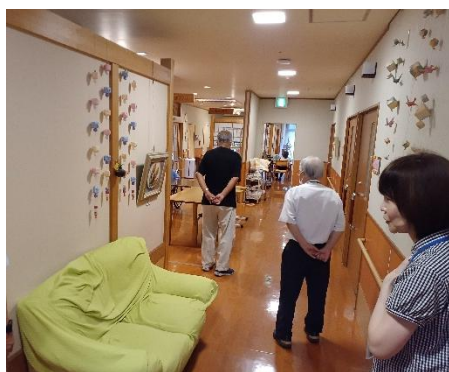
野坂施設長：錦海リハ病院の厨房で調理した完全調理品（レトルト）を朝昼夕の3食とも提供していただいています。配膳カートでカバーを被せてゴロゴロと徒歩で運搬しています。雨天・積雪時は大変です。ご飯は、きんかい幸朋苑で炊いています。

田平委員：施設内には、時計が5台かけてありましたが、時刻の設定が統一されておらず、最大8分の差がありました。ご利用者は、テレビを見ておられますから、時計のずれに気づかれます。合わせておいてください。

名越委員：避難訓練は、年に何回実施していますか。地域住民の参加がありますか。消防署の協力はどうですか。

野坂施設長：避難訓練は、年2回実施しており、今回は9月15日に予定しています。防火管理者を中心にして実施しています。最近は消防署の立会は少なくなっています。

③



名越委員：私が住む地域では、住民にも声をかけ訓練の様様を見学してもらっています。消防署が参加すると消火訓練などをしていただけるので依頼してみてください。

福谷委員：棚の転倒防止用に突っ張り棒が設置されていますが、先日のNHKの検証番組によりますと、震度6以上になると突っ張り棒は役に立たず、**壁付けで固定**するほうが効果があるそうです。

田平委員：火災でも地震でも、ご利用者を迅速に屋外に出すことが大事だと思います。

福谷委員：災害時用の備蓄品が保管されている部屋がありましたが、「災害時収納ステーション」などの名称を付け、備蓄品が保管されていることが、**誰にも分かるように表示**すると良いと思います。

名越委員：錦海町は、中海を埋め立てた場所です。地盤改良がなされていますので、液状化のリスクは少ないと思いますが、災害はどういう形で訪れるか分かりません。避難訓練は、繰り返すことが大事です。

荒井監事：地域との交流やボランティアの協力は、どうですか。

野坂施設長：地元の老人クラブ「錦海クラブ」との交流を開始し、公民館で開催されるサロン活動に職員が参加しています。また、オカリナ同好会が施設を訪問し、演奏会を開催するなど、地域のボランティアとの交流も実施しています。先日は地域の方に施設見学に来ていただいて、リフトの体験もしていただきました。

荒井監事：きんかい幸朋苑は、施設の周囲に樹木があり、雑草も生えやすくなっています。毎年、訪問時が暑い季節のため、除草作業ができていない状況があります。涼しくなったら樹木の剪定や除草を進めてください。

野坂施設長：9月に入り、少しずつ気温が下がってきましたので、計画的に作業を進めたいと思います。

荒井監事：今回は、**10月1日（木）14：00～ グループホームかみごとう**を予定しています。

④

